

アート・コミュニケーション事業



アートを媒介として、人々のつながりをはぐくむ活動をしています。美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、さまざまなプログラムを実施しています。



東京都美術館と東京藝術大学と一般公募の市民が協働する「ソーシャル・デザイン・プロジェクト」。美術館を拠点に、さまざまな価値観を持つ多様な人と作品、人と人、人と場所をつなぐことに取り組んでいます。

上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、こどもたちの“ミュージアム・デビュー”を応援するプロジェクト。年間を通じて、ミュージアムを活用することを目的としたプログラムを実施しています。



東京都美術館と東京藝術大学が連携し、参加型のプロジェクトを企画。老いや年齢にかかわらず、さまざまな年代の人が、創造的に作品と出会う機会を創出します。



2012年に開始したアート・コミュニケーション事業の歩みや実践を、体験を通じて紹介する展示。毎年夏に開催しています。会場にはアート・コミュニケータが常駐しています。



G | 中央棟 2F **RESTAURANT MUSE**
レストラン ミューズ
洋食を中心に和食、キッズメニューも。お気軽にご利用いただけるカジュアルレストラン。



T 03-5832-5551

L | 中央棟 1F **cafe Art**
カフェ アート
コーヒーやスイーツ、軽食をご用意。アートの合間にほっとひと息。



T 03-5832-5566

O | 交流棟 1F **RESTAURANT salon**
レストラン サロン
本格フレンチダイニングをご用意。席の予約ができ、個室のご用意もあります。



T 03-5832-5101

M | 中央棟 1F
佐藤慶太郎記念 アートラウンジ

北欧デザインの椅子に座ってゆっくり休憩できるラウンジです。



N | 交流棟 1F
美術情報室

美術図書・図録・雑誌などをゆっくり閲覧できるライブラリー。



B | 中央棟 LBF(B1F)
ミュージアム ショップ

オリジナルグッズから伝統工芸品まで、日々を豊かに彩るアイテムを取り揃えています。



T 03-5685-9110

施設貸出

ご利用には事前手続きが必要です。お問い合わせください。

I | 交流棟 2F

スタジオ
会議や制作などを行う多目的室です。



F | 交流棟 LBF(B1F)

講堂
講演会やシンポジウム、授賞式などが行えます。



収蔵品



井上武吉
《my sky hole 85-2光と影》
1985年



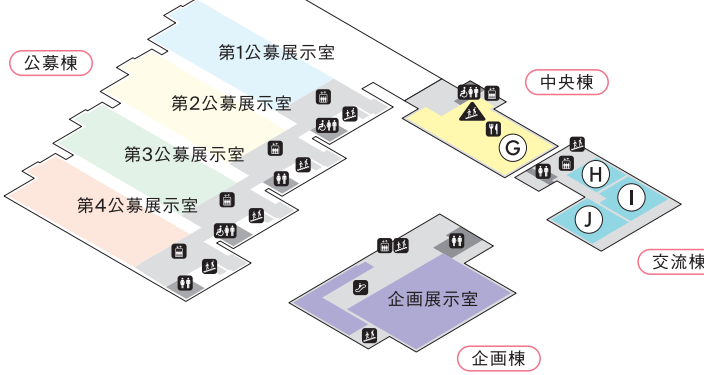
最上善之
《イロハニホヘトチリヌルヲワカ
ヨタレツツネ……》
1979年



青山杉雨 《車馬塵々》

館内案内

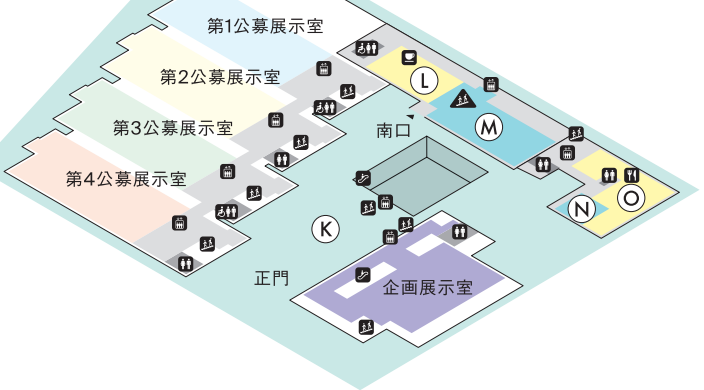
2F
③ レストラン ミューズ
④ プロジェクトルーム
⑤ スタジオ
⑥ アートスタジオルーム



LBF (B1F)
⑦ エントランスロビー
⑧ ミュージアムショップ
⑨ チケットカウンター
⑩ 公募棟ホワイエ
⑪ 企画棟ホワイエ
⑫ 講堂



1F
⑬ エスプラナード
⑭ カフェ アート
⑮ 佐藤慶太郎記念 アートラウンジ
⑯ 美術情報室
⑰ レストラン サロン



B2F
⑱ ギャラリーC



B3F
⑲ ギャラリーA
⑳ ギャラリーB

アクセシビリティ インフォメーションにてご案内

車いすをご利用の方へ
館内をご利用いただける車いすの貸出をしています。車いす対応トイレも各フロアにあります。車いす：28台(自走介助兼用)／無料

小さなお子さま連れの方へ
個室スペースのある授乳室をはじめ、ベビーカー貸出やミルク用お湯のサービスもあります。ベビーカー：5台(対象月齢1～48か月)／無料

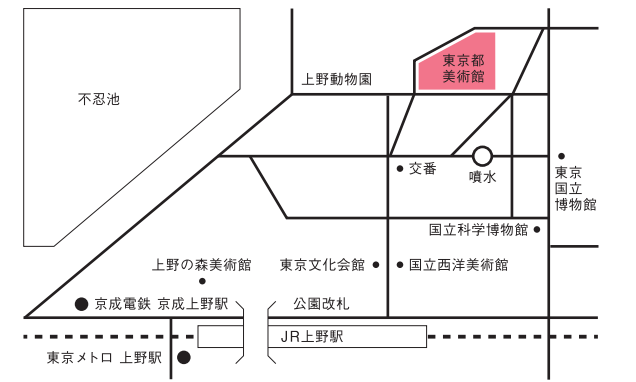
だれでもトイレ
大人が横たわれるサイズの介助用ベッドやオストメイト対応を備えた多機能トイレがあります。

コミュニケーション
インフォメーションでは、英語、中国語に対応しています。また、コミュニケーションボードのご用意のほか、簡単な手話でご案内をしています。

- ① インフォメーション
- ② トイレ
- ③ 車椅子用トイレ
- ④ ロッカー
- ⑤ 救護室
- ⑥ 授乳室
- ⑦ エレベーター
- ⑧ エスカレーター
- ⑨ 階段
- ⑩ カフェ
- ⑪ レストラン
- ⑫ 自動販売機
- ⑬ 公衆電話

ご利用案内

交通アクセス
・JR上野駅「公園改札」より徒歩7分
・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分
・京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
※駐車場はございませんので、車での来館はご注意ください。



開館時間 9:30 - 17:30
※特別展・企画展開催中の金曜日は9:30 - 20:00
※いずれも入館は閉館時間の30分前まで。

休館日 第1・3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)
※特別展・企画展：月曜日休室(祝日・振替休日の場合は翌平日)
※年末年始の他、整備休館など臨時に休館・開館することがあります。

入館料 無料 ※観覧料は展覧会ごとに異なります。

最新情報は東京都美術館ウェブサイトをご覧ください。



[X] tobikan_jp [Facebook] Tokyo Metropolitan Art Museum
[Instagram] tokyometropolitanartmuseum
発行日：2026年1月31日 発行：東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
デザイン：emuni 印刷：望月印刷株式会社 © Tokyo Metropolitan Art Museum




〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36
Tel. 03-3823-6921 / Fax. 03-3823-6920 / https://www.tobikan.jp

1 JAN	2 FEB	3 MAR	4 APR	5 MAY	6 JUN	7 JUL	8 AUG	9 SEP	10 OCT	11 NOV	12 DEC
	1.27→4.12 スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき			4.28→7.5 アンドリュウ・ワイエス展			7.25→10.18 大英博物館日本美術コレクション 百花繚乱～海を越えた江戸絵画			11.14→2027.3.28 オルセー美術館所蔵 いまを生きる歓び	
					6.10→7.1 都美セレクション グループ展 2026		7.23→10.7 この場所の風景—上野・大牟田・ブエノスアイレス			11.19→2027.1.11 あなたが世界を読むために	
							7.31→8.10 アート・コミュニケーション事業を体験する2026			11.19→2027.1.11 はじまりをひらく 東京都美術館の100年	

2026年展覧会 スケジュール

東京都美術館開館100周年記念
スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき

2026.1.27(火)→4.12(日)

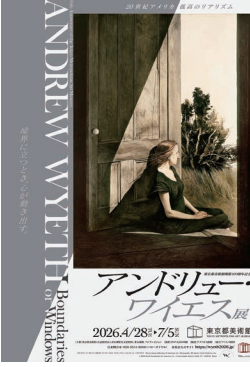


雄大な自然や心地よい暮らしで知られる北欧への関心が高まる中、スウェーデン美術を紹介する展覧会を開催します。スウェーデン国立美術館の全面協力のもと、スウェーデン美術黄金期ともいえる19世紀末から20世紀にかけて生み出された魅力的な絵画を通して、自然と共に豊かに生きる北欧ならではの感性に迫ります。

特別展

東京都美術館開館100周年記念
アンドリュウ・ワイエス展

2026.4.28(火)→7.5(日)



20世紀アメリカ具象絵画を代表する画家アンドリュウ・ワイエス(1917-2009)の回顧展。91歳で没するまで自分の身近な人々と風景を描き続けたワイエスの作品には、自分のいる側と向こう側を隔てる象徴として窓や扉といったモチーフが多用されます。本展はそれらのモチーフを中心に、ワイエスが描いた世界を見ていきます。

特別展


東京都美術館開館100周年記念
都美セレクション グループ展 2026

2026.6.10(水)→7.1(水)

従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的としたグループ展です。東京都美術館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し、審査により選出した3つのグループによる展覧会を開催します。

東京都美術館開館100周年記念
この場所の風景—上野・大牟田・ブエノスアイレス

2026.7.23(木)→10.7(水)

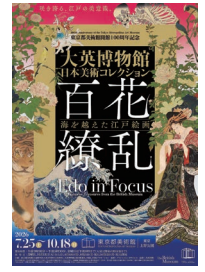


日本初の公立美術館として誕生し、美術家たちの作品発表の場として日本近現代美術の展開と共に歩んできた東京都美術館。そこから遠く離れた場所で、発表を前提とせずに私的/個人的に展開された美術活動。それぞれの「100年」を並行して振り返ることで、美術の持つ根源的な意味や、美術館の今後のあり方について再検討する機会を創出します。

企画展

東京都美術館開館100周年記念
大英博物館日本美術コレクション
百花繚乱～海を越えた江戸絵画

2026.7.25(土)→10.18(日)

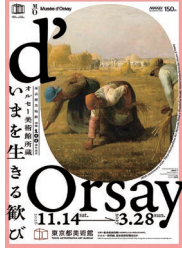


4万点に及ぶ大英博物館の日本コレクションから、江戸時代の屏風、掛軸、絵巻の絵画作品と、歌麿、写楽、北斎、広重など代表的な8人の浮世絵師による版画を中心に、優れた作品を厳選して紹介します。さらに、近年の調査成果や収集の背景にも光を当てることと同館が日本美術の収集・研究・保存の第一線でも果たしてきた役割をたどります。

特別展

東京都美術館開館100周年記念
オルセー美術館所蔵 いまを生きる歓び

2026.11.14(土)→2027.3.28(日)

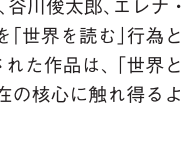


「印象派の殿堂」と称されるオルセー美術館のコレクションから、「いまを生きる歓び」をテーマに絵画や彫刻、工芸や写真など約110点を展示。近代化により急速に変わりゆく19世紀から20世紀初頭の社会で生まれた芸術は、絶えざる技術革新の波を生きる今の私たちになお新鮮な視座を示してくれます。ミレー《落穂拾い》をはじめ、ルノワール、モネ、ファン・ゴッホらの作品を通して、多様な歓びのあり様をご紹介します。

特別展

東京都美術館開館100周年記念
あなたが世界を読むために

2026.11.19(木)→2027.1.11(月)(祝)



本展では、アルベルト・ジャコメッティ、砂澤ビッキ、谷川俊太郎、エレナ・トウタッチコフ、山西ももの作品を通して、アートを「世界を読む」行為として捉えます。身体や言葉、自然を手がかりに表現された作品は、「世界とは何か」という問いを投げかけ、見る者に自身の存在の核心に触れ得るような機会を開いてくれることでしょう。

企画展

公募団体展・
学校教育展

1926年の開館以来、美術や書などの公募団体が、作品発表の場「つくる喜びを共有する場」としてさまざまなジャンルの展覧会を行っています。また、美術系の高校や大学の卒業制作展や、児童生徒の作品展も数多く開かれています。

通年

休館日 夜間開館日 カレンダー

1 JAN	2 FEB	3 MAR
S M T W T F S 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

4 APR	5 MAY	6 JUN
S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

7 JUL	8 AUG	9 SEP
S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

10 OCT	11 NOV	12 DEC
S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	S M T W T F S 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

■ 全館休館日	第1・3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)、整備休館、年末年始
■ 特別展・企画展休室日	月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日) ※特別展・企画展の会期中のみ
■ 夜間開館日	9:30-20:00(入館は閉館時間の30分前まで)

最新の情報は、東京都美術館ウェブサイトをご覧ください。

東京都 美術館の 使命



東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる、すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。

新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場=アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京都美術館は、日本初の公立美術館として2026年に開館100周年を迎えます。2026年は「世界をひらくアートのとびら」を合言葉に、さまざまな開館100周年事業を展開してまいります。

東京都 美術館の 歩み

1926
東京府美術館の創設
大正15年



実業家・佐藤慶太郎から、当時の金額で100万円(現在の40億円相当)の寄付を受け、日本初の公立美術館として、1926年5月1日に開館。美術団体等による新作発表のほか、美術作家の回顧展や国内外の名品を紹介する展覧会を開催し、「美術の殿堂」として広く美術の魅力を伝える役割を担いました。

※1943(昭和18)年の都制施行に伴い、「東京都美術館」に名称変更

1975
新館の開館
昭和50年



旧美術館が手狭となり老朽化したため、前川國男の設計による新しい美術館を建設。生まれ変わった「東京都美術館」は、学芸員による企画展や作品収集にも力を注ぎ、本格的な美術館として活動を開始。今日のワークショップの源流となる教育普及活動をはじめ、一般に開放される美術図書館など、公立美術館の運営のさきがけとして活動しました。1995(平成7)年、東京都現代美術館の開館にともない、約3千点の収蔵作品と約5万冊の美術図書資料を移管しました。

2012
リニューアルオープン
平成24年



多くの人々に親しまれた前川建築を受け継ぎつつ、ユニバーサルデザインを採り入れ、レストランやショップなども充実させる大規模な改修工事を実施。新たな企画展やアート・コミュニケーション事業を開始するなど、美術館としての魅力をより一層向上させる方針のもと、2012年4月1日に「新生・東京都美術館」として再出発しました。

佐藤慶太郎 1868(明治元年)ー1940(昭和15)年
北九州市生まれ。「石炭の神様」と称された実業家。アメリカの鉄鋼王アンドリュウ・カーネギーの慈善活動に共感し、東京府美術館の建設のほか、奨学金の創設や病院への寄付、国民生活改善運動の研究など、公共のために私財を投じました。